



札幌市代表チーム 選手選考会行われる

全国障害者スポーツ大会の出場を目指す、札幌市代表チームの選考会が小樽高等支援学校で行われました。この選考会には、札特連チームからの選手も含めて女子は13名、男子が26名参加しました。

男子チームのヘッドコーチになる小樽高等支援学校の大川達也先生から、「選抜チームは、仲良しチームを作ることが目的ではありません。予選会の出場選手(12名)になれることを目指して、互いが協力し合いながらも競い合う気持ちを常に持って練習してほしい。」という話がされました。選手選考会では、バスケットボールの技術だけでなく、練習に真剣に取り組む姿勢や、パスやシュートなどの反復練習での丁寧さや確実性が評価されていました。

午前の練習では、かなりハードな体力づくりの運動が続きましたが、選考会に参加している選手だけあって、どの選手も全力を出して真剣に取り組んでいました。また、2対2や3対2などのパスを利用した攻撃の基本形の練習や、ドリブルやパス・キャッチからのピポットシュートの練習課題なども、指示を聞いてよく動いていたと思います。午後からは、試合形式での練習となりました。午前の練習での疲れが残っていますが、代表選手になるための一番のポイントとしての、「ハードな日程でも、最後まで走り切ることができる体力とスピード」が、試されていたのではないかと思います。

選考会に参加した選手の力量には大きな差はなかったと思います。選ばれた選手は、札特連チームの代表だとは思わず、選手として成長できることを目指して頑張ってください。

選抜チームの練習で大切にされている以下の三点は、札特連チームでも目指していきたいです。

○気持ちを切り替えることができる

試合で、上手くできなかつたり、ファールを審判からとられても、落ち込んだり、投げやりになつたりすることなく、気持ちを引きずらないで前向きの気持ちをもって、最後までプレーすることができる。

○コーチから言われたことを、理解しようとして、理解したらすぐにプレーに反映することができる。

コーチの指示は、自分やチームに何を求めているのかを考えて、そのことをすぐに実行できる。

○仲間と協力して、取り組むことができる

チームで戦うことを忘れずに、自分のことだけでなく、チーム全員をよく見て行動することができる。

チームを盛り上げたり、声をかけたりして思いやる気持ちをもって、練習したり試合することができる。

札幌市選抜チームは、男子チームは、小樽高等支援学校の大川達也先生 女子チームは、小樽高等支援学校の平賀雄一先生が担当して、当面は毎週土曜日の10時から13時まで練習が行われる予定です。

札特連チームからは、竹田先生が男子チームのコーチとして、高島先生がマネージャーとして選抜チームの練習に参加します。札特連チームの全体練習では、選手やコーチが少なくなる日がありますが、社会人の選手が中心となって練習をサポートしてくれることを期待しています。

3月の練習日

1日(金)	19:00~21:30	手稲東中学校	夜練習
8日(金)	19:00~21:30	手稲東中学校	夜練習
10日(日)	9:15~12:20	琴似小学校	全体練習
15日(金)	19:00~21:30	手稲東中学校	夜練習
22日(金)	19:00~21:30	手稲東中学校	夜練習
24日(日)	9:15~12:15	みなみの杜高等支援学校	全体練習
29日(金)	19:00~21:30	手稲東中学校	夜練習

